3月19日・25日　市の発展に寄与

企業版ふるさと納税 感謝状を贈呈

介護サービスを手掛ける「医療法人滄溟会」(熊本市)と建設業の「清水電気工業㈱」(熊本市)が、市に企業版ふるさと納税を寄付しました。寄付金は「交通コミュニティ対策事業」や「障がい児保育事業」へ活用します。

1_医療法人滄溟会の中原紘嗣理事長。昨年に続き、2回目の寄付になります 2_清水電気工業㈱の清水悦子代表取締役㊧

3月15日　花房小学校

地域への思いを込めて卒業記念植樹

花房小学校の6年生11人が、校庭の花壇に卒業記念の植樹を行い、アジサイの苗木を植えました。地域や母校に愛着を持ってもらえるよう、佐々木章さん(広瀬)が発案し、今年で5年目になります。

佐々木さん(後列㊨)の自宅で2年かけて育てた苗木11本を児童たちは丁寧に植え、優しく土をかけて成長を願いました

3月27日　自衛隊感謝状授与式

村山政廣さんに感謝状

陸上自衛隊西部方面隊創隊68周年記念式典で、熊本県自衛隊家族会の村山政廣さん(妻越)が感謝状を授与され、報告のため市役所を訪問。家族会の副会長として多くの入隊者を確保したことなどが評価されました。

村山さん㊥と妻の真津美さん㊨。村山さんは家族会菊池地区協議会の顧問も兼任し、自衛隊の広報活動にも尽力されています

3月21日　きくち未来創造塾

地域課題の解決に向けて

地域課題の解決や地域資源の活用に向け、既存のビジネスを活用しながら考える「きくち未来創造塾」の第2期修了式が中央公民館で行われました。市内で製造業や飲食店などを営む10人が自身のビジネスプランを発表しました。

15回にわたる講義やヒアリングを経て修了式を迎えました。今年度も3期目の開塾に向けて塾生を募集しています

3月28日　感謝状贈呈

校長先生へ感謝を込めて

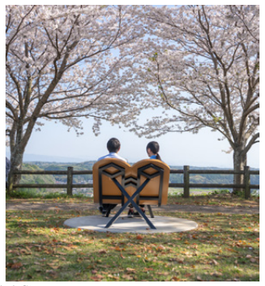
市内の小中学校を3月に退職した校長に感謝状が贈られ、市役所で贈呈式が行われました。永年にわたる教育の充実、振興への尽力と、本市の児童生徒の学力や教育環境の向上に多大な貢献をされたことへ感謝を表すものです。

㊨2番目から廣田順子さん(泗水東小)、長島丈史さん(旭志小)、山本幸二さん(泗水中)

3月28日　ラブベンチデザインコンペ2023

景色をふたり占めするベンチが完成

癒しの里づくりの一環として、おしどり夫婦が市の豊かな自然や伝統、歴史、文化を感じながら、ゆっくりとくつろぐことができるベンチのデザインコンペを実施。グランプリのベンチが完成し、菊池公園(総合体育館付近)に設置されました。



㊨グランプリを受賞したのは三橋俊平さん(福岡市)。菊池一族の家紋をモチーフに2枚の羽根が寄り添ったデザインになっています

3月5日　県トラック協会菊池支部

新入学児童へ交通安全用品を贈呈

(公財)熊本県トラック協会菊池支部が、今年4月に菊池郡市の小学校へ入学した児童約2,300人に交通安全用品として連絡袋と反射キーホルダーを贈呈しました。同会が社会貢献事業として毎年行っていて、今年で15回目です。

下川公一郎支部長(㊨から3番目)は「子どもたちが事故に遭うことのない、楽しい学校生活を送れることを願っています」と話しました

3月13日　中央図書館

日本台湾商会聯合総会が書籍を寄贈

日本台湾商会聯合總会(日本台湾商工会議所)が県内7自治体に台湾書籍を寄贈し、中央図書館で贈呈式が行われました。同会は、日本と台湾の企業相互協力や交流を促進し、経済的なつながりを強化することを目的に活動しています。

市には小説やビジネス書など、336冊寄贈されました。図書は館内で読むことができます

3月14日　令和5年度教育論文等表彰式

深い学びを育む教育の充実に向けて

昨年度、市教育委員会では市内小中学校の教員を対象に、個人教育論文と学校実践事例を募集しました。個人教育論文36点と学校実践事例15点が寄せられ、各賞9点を選出。表彰式では各賞を受賞した教員に表彰状が授与されました。

普光寺以章教育長(前列㊥)は、「各学校の特色に応じた教育実践の様子を知ることができ、大変うれしく思います」と話しました

2月19日　短歌・俳句に親しむ

第18回「万句のふるさと菊池」表彰式

「万句のふるさと菊池」の表彰式が七城公民館で実施されました。第21代菊池重朝公が行ったとされる「菊池万句」にちなみ、市教育委員会が毎年開催しています。入選者のうち最優秀賞の児童生徒に表彰状と記念品が授与されました。

県内や姉妹・友好都市の小中学校から、俳句6,927句、短歌3,240首、計1万167作品が寄せられました(関連10ページ)

3月9・10日　台湾迷倶楽部

台湾の料理や雑貨が並ぶ

台湾料理や雑貨を販売するイベント「台湾迷倶楽部」がリバーサイドパーク七城で開催され、2日間で約7千人が来場。訪れた人たちは台湾風からあげをほおばったり、色鮮やかな洋服を買い求めたりして、台湾の雰囲気を楽しんでいました。

市内外から雑貨や飲食店など30店の出店があり、台湾在住の日本人コーディネーターによるトークショーや抽選会も行われました

3月14日　市役所を表敬訪問　※( )内はいずれも当時

市内の小中学生3人がチアで世界へ

チアリーディングチーム「KCPK」が国内大会で優秀な成績を収め、メンバーの竹野桃花さん(菊池南中3年)、川口愛夏さん(隈府小6年)、木村陽葵さん(同小5年)が市役所を訪問。3人は「世界大会でも上位を狙いたい」と抱負を語りました。

㊨から竹野さん、川口さん、木村さん。アメリカで開催された世界大会でも優秀な成績を収めました

※イベント当日は、市広報や市ホームページ、各種媒体などへの掲載のほか、市のPRのために撮影や取材を行うことがあります。撮影、取材へのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

※ホームページにもトピックスを掲載しています。ぜひご覧ください。
市ホームページ　https://www.city.kikuchi.lg.jp/

4月20日　西部電気工業株式会社

西部の森きくちで植樹祭を実施

西部の森きくち（鞍岳中腹）で植樹祭が行われ、西部電気工業㈱（坂口隆富美代表取締役社長）の関係者ら約250人が参加。平成22年4月から本市と締結している「西部の森きくち」の活動は15年目を迎えました。

西部電気工業㈱グループの社員が参加し、ハナミズキやヤマザクラなど1,282本を植樹しました

5月5日　菊池教育会、迫間川流域実行委員会

過去最多のこいのぼりが空を泳ぐ

迫間めがね橋の下流で128匹のこいのぼりが空を泳ぎました。子どもたちの健やかな成長を願って菊池教育会が企画し、迫間川流域実行委員会が設置・撤去を担当。住民から不要になったこいのぼりを募り、毎年活動を続けています。

訪れた子どもたちにこいのぼりについて説明する迫間川流域実行委員長の打出敬介さん（西迫間）㊨

4月25日　城北自動車学校

地域活性化に向けて市と連携

市は㈲城北自動車学校（吉富）と包括連携協定を締結しました。今後、交通安全の推進、防災・災害対策、関係人口の活性化など、幅広い分野で知見やノウハウを生かした事業に取り組んでいきます。

池邉久雄代表取締役社長㊨は「合宿免許で菊池を訪れた受講生に市の魅力を知ってもらう機会をつくりたい」と話しました

4月26日 中学生女子ソフトボール大会

市内中学生2人が全国大会に出場

第20回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会の県選抜に、水上伝心さん（旭志中3年）と山内あおいさん（菊池南中2年）が選出され出場。試合を終えた2人が報告のため市役所を訪問しました。

惜しくも2回戦で敗退しましたが、水上さん㊨は「県選抜として全国大会に出場したことで、一回り成長できたと思います」と話しました

5月2日　2024年全国広報コンクール

菊池広報が3年連続で全国表彰

2024年全国広報コンクール（日本広報協会主催）で、広報きくちが「組み写真部門」で入選しました。本コンクールでの受賞は3年連続。地方自治体の広報活動の向上を目的に、昭和39年から実施されています。

入賞した昨年9月号の組み写真。「菊池白龍まつり」の写真を見開きで15枚配置し、会場の熱気が伝わるよう工夫しました

5月9日　花房小学校

大塚製薬株式会社が熱中症授業

市と包括連携を締結している大塚製薬㈱が、花房小学校で熱中症対策授業を行いました。同社の熱中症対策アンバサダー北山奈々夏さんが、熱中症を防ぐにはどうしたらいいのかスライドを使って分かりやすく児童たちに説明しました。

出口莉子さん（6年）は「普段あまり水分を取らないので、こまめに取るように心掛けたいです」と話しました

4月3日　サントリーホールディングス株式会社

水平リサイクルに関する協定を締結

菊池郡市4市町とサントリーホールディングス㈱が、ペットボトルの「ボトルtoボトル」水平リサイクルに関する協定を締結。使用済みペットボトルを再利用し、二酸化炭素の排出削減と住民のリサイクル意識の向上を目的にしています。

協定を結んだ4市町の首長とサントリー関係者

4月3日　優秀安全運転事業所表彰

株式会社九州運輸が受賞

㈱九州運輸（岡）が優秀安全運転事業所表彰銀賞を受賞。同賞は「事業所における交通事故・交通違反の防止」などの安全運転管理を積極的に推進している事業所に対して、期間中の顕著な成果やその達成度合いに応じて表彰されます。

㊨から菊池警察署の三宅晶子署長、㈱九州運輸の北田秀文代表取締役社長、自動車安全運転センター県事務所の原秀二所長

4月5日・6日　U12九州国際フットボールチャレンジカップ

サッカー少年たちが汗を流しました

12歳以下の国際大会「U12九州国際フットボールチャレンジカップ」が七城総合運動公園で開催され、国内外の強豪チームと県内のチームが対戦しました。本大会は元日本代表の巻誠一郎さんが実行委員長を務めています。

全力でボールを追いかける子どもたち

4月5日　文教菊池顕彰会

菊池一族に思いをはせる

文教菊池顕彰会が中央公民館で鼎談会を開催。菊池一族の末裔と伝えられている紺野健二さんが福島県から来菊し、先祖代々伝わる菊池氏に関する資料を基に、さまざまな説や菊池氏への思いを語りました。

㊨から紺野家に伝わる資料を研究している澁谷龍さん、熊本郷土史譚研究所所長の堤克彦さん、紺野健二さん

4月14日　せかいかいぎ

スポーツを通して国際交流　（関連20ページ）

外国人主体でイベントを企画・運営する団体「せかいかいぎ」が、多文化共生社会の実現を目的にスポーツ大会を菊池女子高校体育館で開催。16人の市在住外国人と29人の日本人が参加し、ドッジボールや綱引きなどで汗を流しました。

せかいかいぎ運営のリーダー・中原暁さん（広瀬）は「このような場がもっと増えてほしいです」と話しました

4月9日　子どもたちから感謝のメッセージ

不動裕理さん、ありがとう!

市ではプロゴルファーの不動裕理さんからの寄付金を基にジュニアスポーツの育成を目的とした基金を設立しています。これまでにクラブ活動の補助など234件に活用。市役所で不動さんと対面した子どもたちは感謝の言葉を贈りました。

不動さんは「負けたときにこそ反省点があるので、それを次に生かしていくことが大事」と子どもたちに優しく語りました